Contentious Symbol

南部の誇りか、黒人差別の象徴か

今も続く南北戦争？ 米南部で住民を分断する「南軍旗」

米国サウスカロライナ州で、アイス店のすぐそばに掲げられた南部連合国旗の撤去をめぐり住民が対立している。同旗は南北戦争中に奴隷制を支持した南軍が使用した旗で、南北戦争から150年以上が経つ今も、南部の誇りとも、黒人差別の象徴ともみなされる、常に論争を呼ぶ旗だ。店主も「南軍旗」の撤去を求めているが、実現できない状況が続いている。その理由とは……？

本誌ウェブサイトでは、ニュース映像の視聴やPDFファイルのダウンロードができます。詳細は別冊付録の裏表紙をご覧ください

ビクター・ブラックウェル記者の発音と話し方の特徴

アメリカ英語

速さ：★★½　発音：★½☆
語彙：★★☆　総合：★★½
［★聞き取りやすい↔★★★難しい］

ナチュラルスピードの速さ。特に目立った癖はないが、抑揚に南部なまりがわずかに感じられる。その特徴の一つがrestaurant。英米ともに主流の発音は「レス・チュロゥント」。本記者の発音は「レス・ト・ロゥント」。

キーワード

ニュースを聴く前にチェックしておこう

41

□ Confederate flag	[kənfédərət]	（米国の南北戦争時の）南部連合国旗
□ divisive	[diváisiv]	軋轢（あつれき）を招く、人の間に対立を生む
□ bother	[báðər]	～を悩ます、困らせる
□ gridlocked	[grídlàkt]	身動きの取れなくなった、行き詰まった
□ segregation	[sègrigéiʃən]	差別主義、人種隔離政策
□ integrate	[íntəgrèit]	（機関・学校などの）人種差別をなくす
□ veteran	[vétərən]	退役軍人、兵役経験者
□ sinister	[sínəstər]	邪悪な、悪意のある
□ in the aftermath of	[æftərmæθ]	（災害・事件などの）余波で
□ all hell breaks loose	[lú:s]	大混乱になる、大騒動が起きる

ナチュラル 42 ゆっくり 47 「オレンジバーグにようこそ」

ゆっくりスピード（ポーズ入り）の発音はカナダ英語です

ニュース1では、スラッシュリーディングおよびスラッシュリスニングの参考として、情報・意味のまとまりごとにスラッシュ（/）を入れています

This broad stretch of John C. Calhoun Drive/ is flanked by two unambiguous landmarks:/ on the right,/ ❶a sign welcoming you to Orangeburg, South Carolina,/ population roughly 13,000 and more than three-quarters black;/ on the left,/ ㊀a Confederate flag.//

The flag flies atop this pole,/ right next to the sign for the Edisto River Creamery.// By now, you know the flag's divisive history,/ and seemingly, everyone in Orangeburg has an opinion/ about the flag at the ice-cream shop.//

contentious:
《タイトル》議論を引き起こす
broad:
幅が広い、広大な
stretch:
一筋、（道路や川の）一部
John C. Calhoun:
▶ジョン・コールドウェル・カルフーン（1782-1850年）は米国の19世紀前半の政治家で、副大統領（1825-'32年）。奴隷制の擁護、少数派の権利拡大、南部の合衆国からの脱退で知られる。
flank:
～の側面に立つ、両側に位置する
unambiguous:
はっきりとした、明白な
landmark:
目印、目標物、ランドマーク
three-quarters:
4分の3で
Confederate flag:
（米国の南北戦争時の）南部連合国旗
fly:
〈旗などが〉掲げられている、はためく
atop:
～の上に、頂上に
pole:
ポール、棒　▶ここでは「旗竿」の意味で使われている。
creamery:
乳製品販売所、アイスクリーム店
divisive:
軋轢（あつれき）を招く、人の間に対立を生む
seemingly:
どうやら～らしい、聞いたところによれば

サウスカロライナ州のジョン・C・カルフーン通りで見られる、看板と南部連合国旗（左）。旗はアイスクリーム店「エディスト・リバー・クリーマリー」のすぐ隣に掲げられている（右）

ジョン・C・カルフーン通りの、道幅が広くなっているこの辺りには/ 二つのはっきりとした目印が両側にあります/ すなわち、右側には/ 「サウスカロライナ州オレンジバーグにようこそ」という看板があります/ ここは人口約1万3000人で、その4分の3以上が黒人の町です/ 左側には/ 南部連合国旗があります。//

旗はこの旗竿（はたざお）のてっぺんに掲げられていますが/（アイスクリーム店の）エディスト・リバー・クリーマリーの看板のすぐ隣にあります。// すでに、この旗をめぐる対立の歴史はみんなの知るところでしょう/ そしてどうやら、オレンジバーグの誰もが意見を持っているようなのです/ アイスクリーム店にあるその旗について。//

理解のポイント

❶の welcoming は現在分詞。welcoming you to Orangeburg は後ろから a sign を修飾している。

㊀**Confederate flag**（南部連合国旗）
アメリカを二分した南北戦争（1861-'65年）では、奴隷制存続や自由貿易を主張する南部諸州のうち11州が合衆国を脱退してアメリカ連合国を結成し、北部23州の北軍と戦い、南軍が負けて奴隷制度が廃止された。このため、赤地に青い帯を斜めに交差させ、13個の星が並ぶ南部連合国の旗は、奴隷制や黒人差別などの象徴とされてきた。

だが一方で、一部の南部の住民にとっては、今なお、南部文化の象徴、地域の誇りを示す文化遺産として受け止められており、南部連合国旗は、南北戦争を指揮したリー将軍などの像とともに、南部ではよく見受けられるものとなっている。